

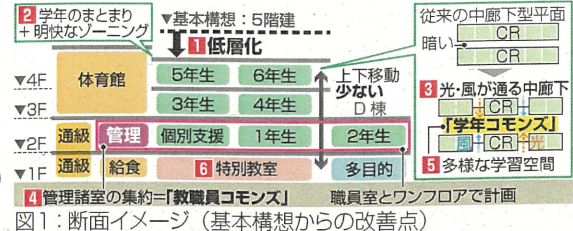
件名 戸塚小学校建替え工事に伴う設計業務委託

事務所の商号又は名称

山下設計・川喜田建築設計事務所設計共同企業体

基本構想からの6つの改善点

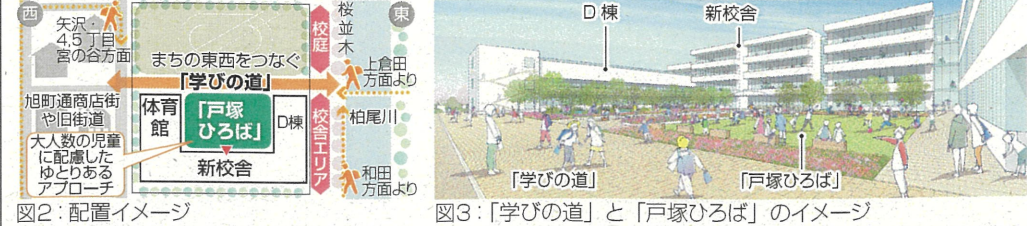
- 1 地上4階建てに低層化
2 学年毎のまとまり+明快なゾーニング
3 光と風が通り抜ける中廊下型校舎
4 管理諸室の集約(教職員コモンズ)
5 多様な学習空間の創出(学年コモンズ)
6 特別教室の集約(学びのギャラリー)



1,300人の子供たちの個性と交流を育む、多様な学び舎

明快なアプローチの設定と活動的な「学校の顔」作り

学びの道：東西をつなぐアプローチで、広域な学区からの登下校に配慮。戸塚ひろば：校舎正面に学校の顔となる活動空間を配置。ゆとりあるアプローチで混雑緩和。



緑の潤いとゆとりある景観形成

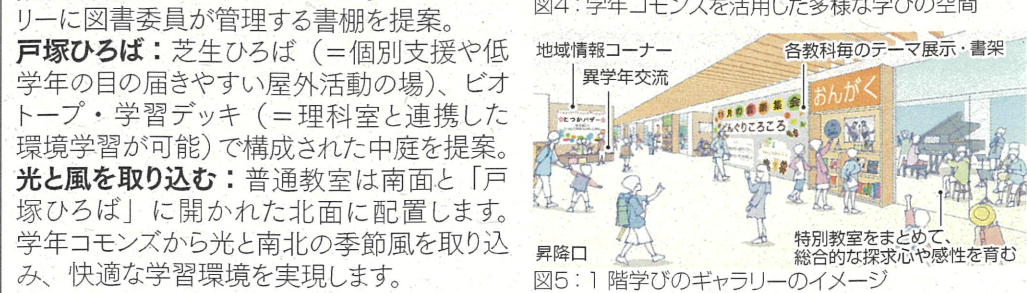
地域に親しまれる景観：沿道緑化と体育館の緑のカーテンで潤い創出とプライバシーを確保。周囲への影響：校舎を低層化し、校庭への日影を抑制。壁面を分節し、近隣への圧迫感を軽減。

約1,300人の大規模校を実現する7つの工夫

- 動線の短縮：低層化で移動を短縮。児童・教職員の負担を低減し、休み時間を有効活用。
ゆとりある廊下・階段：各教室前の廊下と階段幅員に余裕を持たせ、安全性を確保。
普通教室を集約：普通教室(個別支援含む)を3層にまとめて、教職員が児童全体を把握しやすい計画とします。
学年ユニット：普通教室は学年毎にまとまりを持たせ、学年内交流を促進。生活階段を近接させ、他学年との動線の交錯を減らします。

「主体的・対話的で、個人に合った学び」に対応できる6つの工夫

- 学年コモンズ：普通教室の廊下にゆとりを持たせ、個別指導や展示等、学年単位で利用可能。
3面黒板の教室：一斉授業のほか、効果的な習熟度別学習やグループ学習が可能。
学びのギャラリー：特別教室を1階に集約し、前面に展示スペースを設け、歩く好奇心と異学年交流が生まれる場とします。
読書の推進：学年コモンズと学びのギャラリーに図書委員が管理する書棚を提案。
戸塚ひろば：芝生ひろば(=個別支援や低学年の目の届きやすい屋外活動の場)、ピオトープ・学習デッキ(=理科室と連携した環境学習が可能)で構成された中庭を提案。
光と風を取り込む：普通教室は南面と「戸塚ひろば」に開かれた北面に配置します。学年コモンズから光と南北の季節風を取り込み、快適な学習環境を実現します。



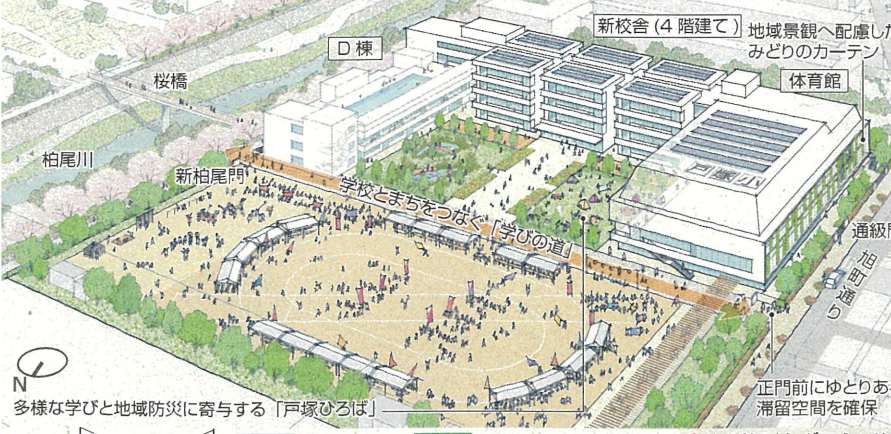
通級棟=ユニバーサルデザイン+死角のない静穏な教育環境

動線：行き止まりや死角がなく、校舎棟の動線と分離することで、児童の安全を確保。
安全対策：バルコニー+窓の開放制限。
内装・サイン：刺激を与えない色調・デザイン。

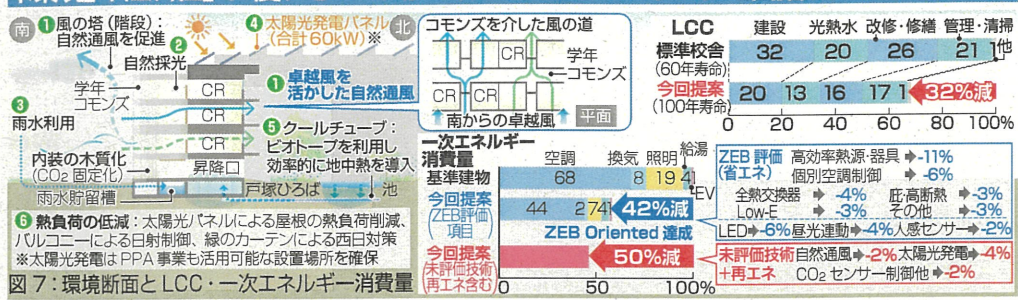
地域の防災力向上に寄与

避難：日常利用しやすい学びの道、戸塚ひろばは、災害時の迅速な避難に寄与。
動線分離：学校と避難所の明快なエリア区分。

子供がのびのびと育つ、地域と共生する大きな学び舎(鳥瞰イメージ)



「環境」「経済性」に優れたエコスクール: CASBEE S ランクを目指します 提案項目(2)(3)



ZEB Oriented*を目指します 提案項目(2)ア

※学校建築に必要な一次エネルギー消費量40%以上削減(経産省の報告書より)
・費用対効果を検証し、図7に示す省エネ手法により、一次エネルギー消費量を42%削減。太陽光等の再エネ利用も含め、正味のエネルギー消費量50%削減を目指します。

建設費の無駄をなくします 提案項目(3)ア

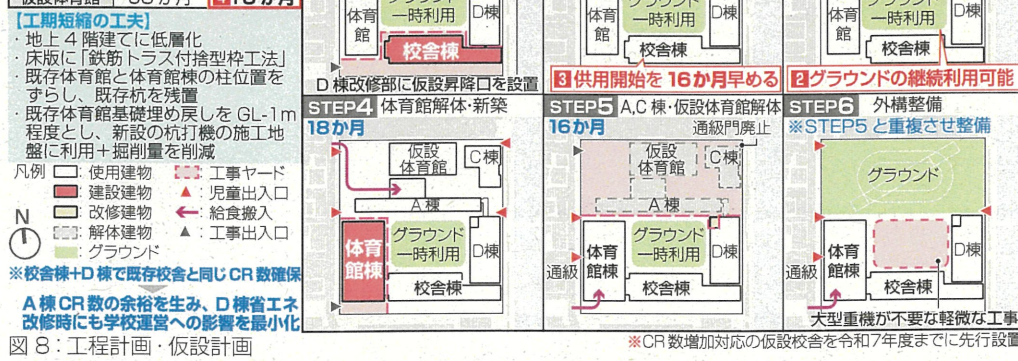
・低層化と効率的な平面計画により、床面積を約150㎡縮小(約0.4億円減)
・校舎と体育館を構造的に独立させ、形状に応じた最適な構造を立案(約0.2億円減)
・体育館の新設杭の位置を既存とずらし、既存杭を残置(約0.3億円減)
・仮設体育館を約160㎡縮小、リース期間20ヶ月短縮(約0.3億円減) 提案項目(4)参照

効果的な木質化 提案項目(2)イ

・維持管理に配慮した上で、「学年コモンズ」等、日常的に目にする部分を木質化し、木育に貢献。
・県産材の積極活用で、地域経済の循環に寄与。
・通級教室の木質化で、落ち着いた環境を創出。

全工事期間での「良質な学習環境・安全性確保」と「運営への影響最小化」 提案項目(4)

「校舎の低層化」「校舎棟の先行着手」「仮設体育館の北側配置」等の工夫で、下記4つを実現します。
1 全体工期を7ヶ月短縮、2 全ての期間で広いグラウンドを確保し、良質な学びを継続
3 新校舎の供用開始時期を16ヶ月早める、4 仮設体育館のリース期間を20ヶ月短縮



安全配慮を徹底 提案項目(4)ア

・明快な工事範囲と通級棟の静穏な環境確保。
・全体工期・仮設利用短縮で安全性を向上。
・児童、工事車両出入口の離隔を十分確保。
・新柏尾門を早期設置し、安全な動線を確保。

豊富な実績と建設的な合意形成プロセスで、高品質な設計を実現 提案項目(5)

円滑に業務を推進する体制 提案項目(5)ウエ

・学校建築や児童福祉施設等の経験豊富な代表構成員と、標準図に精通する市内構成員との協働で、迅速な対応を行い、関係者との協議を円滑に推進します。
・各担当が基本計画から監理まで継続担当し、丁寧に設計意図を伝達・共有します。
・設計初期段階から節目毎にコスト管理を行い、性能とコストのバランスを図ります。

フロントローディングとBIM 提案項目(5)アイ

・計画初期段階の高密度な検討で、早期に方向性を定め、手戻りを無くします。
・BIMの活用で円滑な合意形成を図り、漏れや不整合のない高品質な図面を作成します。
・環境シミュレーションを実施し、根拠に基づく適切な設計を行います。